

### 03 日系人学校「ムンド・デ・アレグリア学校」に経営支援

学校法人「ムンド・デ・アレグリア学校」(浜松市南区卸本町)は、南米系日系人の子供たちの学校です。言葉の問題から日本の学校に行っても授業内容を理解できず、また経済的な問題から外国人学校には通うことができず、結果として家庭に閉じこもっていた子供たちに「学ぶ喜び」を知ってもらい、日本の社会に適應できる人材に育てて欲しいとの思いから設立された学校です。

同校は、2003年2月に個人資金により開設されましたが、学校運営を個人で行うのは限界があり、永続できるようスズキが支援することを決め、地元浜松の産業界に呼びかけました。支援の輪は約60社に及びました。2005年8月には、全国で初めての南米系外国人の学校法人となり、県と市からの助成金を受けられるようになりました。地道な活動が少しずつ評価され、支援者、協力者が増えてきています。同校の役員(設立発起人、理事、監事、評議員)には地元産業界からも多数

参加しています。

国際都市を標榜する浜松市から、立派な日系人2世3世が誕生してほしいと願っています。



### 04 大学でスズキ寄附講座・冠講座を開講

#### 地元の学生にスズキのものづくりを紹介

地元の大学へ、スズキから講師を派遣し、人材の育成および研究の活性化等を行う「スズキ寄附講座」や学生に産業界の現状を紹介する「スズキ冠講座」を開講しています。

#### ●寄附講座

スズキは、静岡大学(工学部)において2003年度から、研究者育成及び学術振興・社会貢献等を目的として、エンジン環境工学についての寄附講座を開講しています。



・現在の主な研究テーマ：

エンジンの環境負荷を低減する研究(ガソリン代替燃料の利用や燃費向上によりCO<sub>2</sub>排出を低減する)

・講師：

スズキから大学に従業員を教授、助教授(現在は准教授)として派遣

・期間：

2003年4月から2012年3月までの9年間

なお、スズキは2005年11月16日に、静岡大学との間に、科学技術・学術研究の振興と研究成果の社会活用、人材育成の推進等を図ることを目的として協定書を締結しました(「スズキ株式会社と国立大学法人静岡大学との間の教育研究連携の推進に関する協定書」)。

#### ●冠講座

また、静岡産業大学・浜松大学・浜松学院大学の3校において、学生に産業界の現状や問題への取り組み方を紹介する冠講座を開講しています。

・テーマ	：2001年度	軽自動車産業論
	：2002年度	スズキのやり方
	：2003年度	スズキの挑戦
	：2004年度	グローバル企業を目指して
	：2005～2008年度	グローバル企業を目指して ～厳しい企業競争を勝ち抜くためのスズキの取り組み～

・講師：テーマに応じ、各職場から大学に派遣

・講義回数：1回90分授業を毎年13～14回で1講座として  
います